

9月の新着本

9月14日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

居酒屋 ぼったくり 11	秋川 滝美	東京下町にひっそりとある、居酒屋「ぼったくり」。名に似合わずお得なその店には、旨い酒と美味しい料理、そして今時珍しい義理人情がある。旨いものと人々のふれあいを描いた短編連作小説、感動の最終巻！全国の銘酒情報、簡単なつまみの作り方も満載！
平場の月	朝倉 かすみ	朝霞、新座、志木…。家庭を持ってこのへんに住む元女子たち。元男子の青砥も、このへんで育ち、働き、老いぼれていくひとりである。心のすき間を埋めるような感情のうねりを、求め合う熱情を、生きる哀しみを描く、大人の恋愛小説。
ノーサイドゲーム	池井戸 潤	大手自動車メーカー・トヨタ自動車のエリート社員だった君嶋隼人は、ある大型買収案件に異を唱えた結果、横浜工場総務部長に左遷され、同社ラグビー部のゼネラルマネージャーを兼務することに。素人である君嶋が、お荷物社会人ラグビーチームの再建に挑む。
むらさきのスカートの女	今村 夏子	近所に住む「むらさきのスカートの女」と呼ばれる女性が気になって仕方のない“わたし”は、彼女と「ともだち」になるために、自分と同じ職場で彼女が働きだすよう誘導する。狂気と紙一重の滑稽さ。変わりえぬ日常。“わたし”が望むものとは。
【今月のスタッフおすすめ本】 だから殺せなかった	一本木 透	大手新聞社の社会部記者宛てに、首都圏全域を震撼させる無差別連続殺人の真犯人を名乗る者からの手紙が届く。送り主は「ワクチン」と名乗ったうえで、記者に対して紙上での公開討論を要求し…。第27回鮎川哲也賞優秀賞受賞作。
鹿の王 水底の橋	上橋 菜穂子	オタワルの天才医術師ホッサルは、祭司医・真那の招きに応じて、恋人ミラルとともに清心教医術の発祥の地・安房那領へと向かう。ホッサルはそこで、清心教医術に秘められた驚くべき歴史を知るが、思いがけぬ成り行きで、次期皇帝争いに巻き込まれていき…。
渦 妹背山婦女庭訓魂結び	大島 真寿美	江戸時代、芝居小屋が立ち並ぶ大坂・道頓堀。大坂の儒学者・穂積以貫の次男として生まれた成章は、浄瑠璃の魅力に取り付かれ…。「妹背山婦女庭訓」や「本朝廿四孝」などを生んだ人形浄瑠璃作者、近松半二の生涯を描く。
百花	川村 元気	認知症と診断された母・百合子。息子の泉は、徐々に息子を忘れていく母を介護しながら、過去へと思いを巡らせる。ふたりで生きてきた親子には、どうしても消し去ることができない“事件”があった。現代に新たな光を投げかける、愛と記憶の物語。
美しき愚かものたちのタブロー	原田 マハ	モネ、ルノワール、ゴッホ…。日本の若者に本物を見せたい。その一心で絵画を買い漁った男がいた。国立西洋美術館の礎“松方コレクション”の奇跡を描く感動作。
続横道世之介	吉田 修一	バブル最後の売り手市場に乗り遅れ、バイトとパチンコで食いつなぐ横道世之介。いわゆる人生のダメな時期にあるのだが、なぜか彼の周りには笑顔が絶えない。27年後、オリンピックに沸く東京で、小さな奇跡が生まれる。

☆ NHKテレビテキスト「きょうの料理9月号」は閲覧できます。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、10月新着本貸出日(10月12日)から貸出いたします。

